



コアジサシ *Sterna albifrons*

分類：チドリ目カモメ科

大きさや特徴：全長約 30cm。頭頂から後頭部は黒色。嘴は黄色で先端が黒色、脚は橙黄色。

分布：温帯から亜熱帯まで世界的に広く分布し、日本では沖縄県から青森県で繁殖する。

調査地域での生態的地位：典型性

食性：主に小型魚類を捕食。

活動場所：海岸、河口、湖沼や河川に沿った内陸。

繁殖場所：海岸埋立地、あるいはサンゴ州に営巣。

重要種指定：国際希少野生動物種
環境省 VU、沖縄県 VU

沖縄での本種の出現時期（● 繁殖時期）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
-	-	-	●	●	●	●	○	○	-	-	-



エリグロアジサシの求愛給餌（御向島）



コアジサシの求愛給餌が確認された環境（瀬嵩区）

- 平成 20 年度調査では、クロハラアジサシ、オオアジサシ、アジサシ、ベニアジサシ、エリグロアジサシ、マミジロアジサシ、コアジサシの 7 種が確認されました。エリグロアジサシでは繁殖行動（交尾や抱卵）が 6 月下旬～8 月上旬に、辺野古崎～豊原の地先、辺野古崎周辺の岩礁、長島、平島等で確認されました。他の種について繁殖行動は確認されませんでした。
- コアジサシ及びベニアジサシの繁殖行動（交尾、求愛給餌）は平成 19 年度（既存資料）で確認されました。

〈食物連鎖例〉

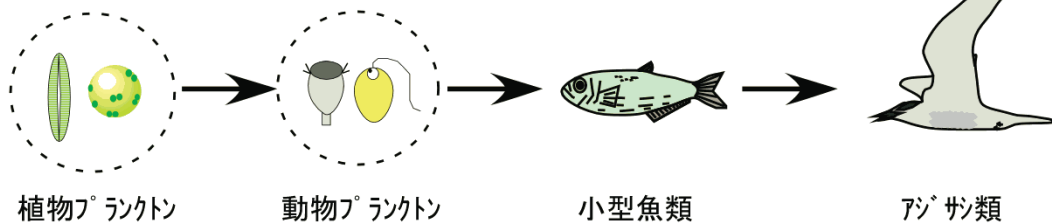


図-6. 19. 2. 1. 4(4) 各注目種の一般生態(典型性 アジサシ類その 2)



巢内に座る成鳥

ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*

分類：コウノトリ目サギ科

大きさや特徴：全長約 57cm。夜行性。

分布：ユーラシア大陸、アフリカ、南北米大陸の温帯から熱帯。国内では本州、四国、九州で繁殖。

調査地域での生態的地位：典型性

食性：夜間に水辺で昆虫や、主に魚類を捕食。

活動場所：昼間に竹林や薄暗い林で休み、夕方より水田や河川、水辺で採餌。

繁殖場所：松林等に、コサギ等と混群で集団繁殖する。

重要種指定：－

沖縄での本種の出現時期（● 繁殖時期）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○



繁殖地周辺で確認された若鳥



集団繁殖地の環境

- 平成 20 年度調査では、オー川河口部付近のイジュータブノキ群落でゴイサギの集団繁殖地(コロニー)が確認されました。コロニーでは、雛が延べ 9 個体、巣立ち後の幼鳥が 3 個体、成鳥が延べ 69 個体確認されました。また、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギがねぐらとして利用していました。

〈食物連鎖例〉

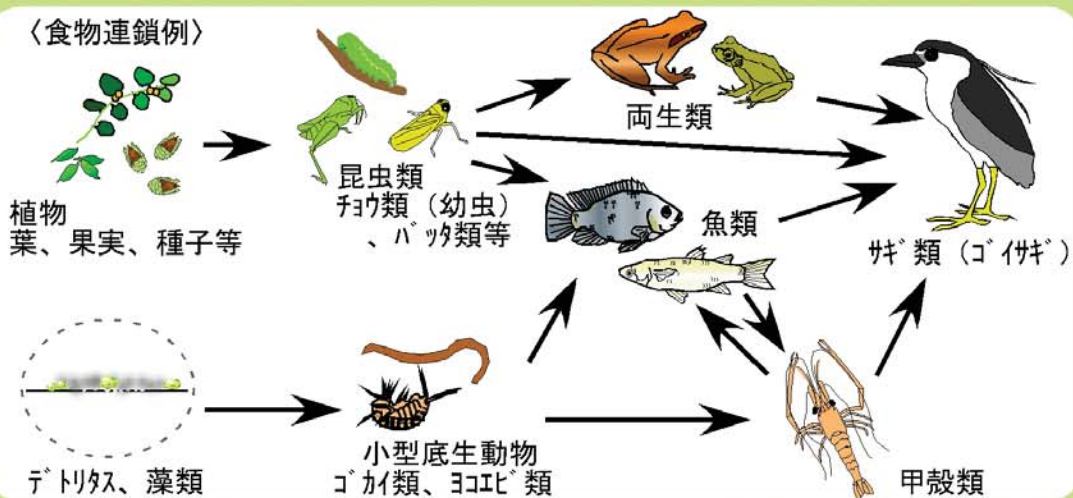


図-6. 19. 2. 1. 4(5) 各注目種の一般生態(典型性 サギ類)



シロチドリ *Charadrius alexandrinus*

分類：チドリ目チドリ科

大きさや特徴：全長約 17cm。成鳥の上面は灰褐色。下面は白色で、嘴と足は黒い。

分布：県内の海岸砂地や、埋立地の荒れ地等で少数が留鳥として生息している他、一部が冬鳥及び旅鳥として当地を訪れる。

調査地域での生態的地位：典型性。

食性：昆虫や小型甲殻類等を捕食。

活動場所：海岸の砂浜、河口の干潟。

繁殖場所：海岸の砂浜、大きい河川の砂州等。

重要種指定：沖縄県 NT

沖縄での本種の出現時期（● 繁殖時期）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○



営巣状況（キャンプ地区）



雛（キャンプ地区）

繁殖が確認された代表的な環境



キャンプ地区

- 平成 20 年度調査では、雛や抱卵、交尾等の繁殖行動は安部区で 2 例、キャンプ区で 6 例、辺野古区で 2 例、豊原区で 6 例、久志区で 4 例、松田区で 3 例の合計 23 例が確認されました。

〈食物連鎖例〉

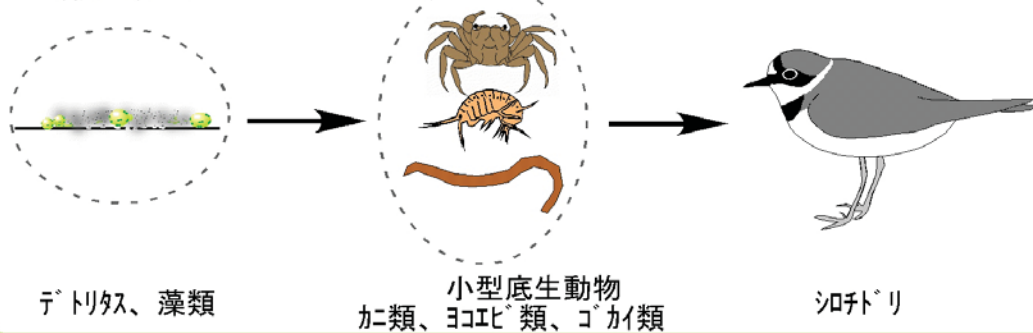


図-6. 19. 2. 1. 4(6) 各注目種の一般生態(典型性 シロチドリ)



オカヤドカリ *Coenobita cavipes*

分類：エビ目オカヤドカリ科

大きさや特徴：オカヤドカリ類の中で大型の種類。体色は主に、茶色とベージュ色。

分布：トカラ列島以南の南西諸島、八丈島以南に広く分布。

調査地域での生態的地位：典型性。

食性：雑食性。

活動場所：内陸部、海岸林等。

繁殖場所：波打ち際や、砂浜等。

重要種指定：国指定天然記念物。

沖縄での本種の出現時期（● 繁殖時期）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○



コムラサキオカヤドカリ

Coenobita violascens

分類：エビ目オカヤドカリ科

大きさや特徴：眼柄断面は四角。はさみが他のオカヤドカリ類より丸い。体色は濃紫色。

分布：沖縄島以南に分布。

調査地域での生態的地位：典型性。

食性：雑食性。

活動場所：内湾や河口域。

繁殖場所：オカヤドカリに準ずる

重要種指定：国指定天然記念物

環境省 NT、沖縄県 NT

沖縄での本種の出現時期（● 繁殖時期）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○



放仔するオカヤドカリ



コムラサキオカヤドカリ幼体

図-6. 19. 2. 1. 4(7) 各注目種の一般生態
(典型性 オカヤドカリ類・オカガニ類その1)



ムラサキオカヤドカリ

Coenobita purpureus

分類：エビ目オカヤドカリ科
 大きさや特徴：大きいハサミに斜行顆粒列有り。
 分布：トカラ列島以南の南西諸島、八丈島以南に
 広く分布。

調査地域での生態的地位：典型性。

食性：雑食性。

活動場所：砂浜や海岸林等。

繁殖場所：波打ち際や、砂浜等

重要種指定：国指定天然記念物

沖縄での本種の出現時期 (● 繁殖時期)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○



ナキオカヤドカリ *Coenobita rugosus*

分類：エビ目オカヤドカリ科

大きさや特徴：オカヤドカリ類で最も小型の種。
 ハサミの突起と歩脚の指節をすりあ
 せてキチキチと音を出す。

分布：トカラ列島以南の南西諸島、八丈島以南に
 広く分布。

調査地域での生態的地位：典型性。

食性：雑食性。

活動場所：砂浜や海岸林等。

繁殖場所：ムラサキオカヤドカリに準ず。

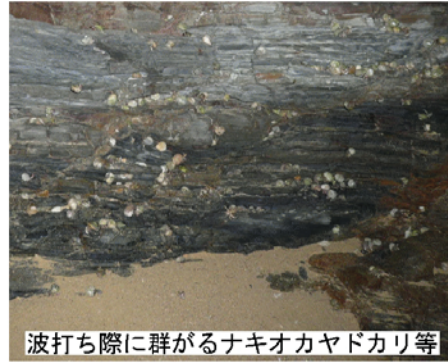
重要種指定：国指定天然記念物。

沖縄での本種の出現時期 (● 繁殖時期)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○



放仔するムラサキオカヤドカリ



波打ち際に群がるナキオカヤドカリ等

図-6. 19. 2. 1. 4(8) 各注目種の一般生態

(典型性 オカヤドカリ類・オカガニ類その2)